

会議結果報告書

平成29年10月13日

会議の名称	平成29年度第4回志木市健康づくり市民推進協議会
開催日時	平成29年10月12日(木) 午後1時30分～3時30分
開催場所	志木市役所 4階 全員協議会室
出席委員	山下和彦会長、小山博久副会長、渡部日恵委員、谷合弘行委員、前野房子委員、谷岡正吉委員、清水正子委員、星野賢委員、金敷禎子委員、赤羽尚子委員、濱田好江委員、西和江委員、滝沢麻子委員、田代健委員、飯田順一委員 (計 15人)
欠席委員	鎌田昌和委員、日東明子委員、新井弘委員、木下武三委員、川崎善一委員、小松順子委員、大熊啓太委員 (計 7人)
説明員職氏名	今野参事兼健康政策課長、清水健康政策課副課長 金澤健康増進センター所長、貫井健康増進センター主査 (計 4人)
議題	(1) 次期いろは健康21プランの策定に係る市民健康意識調査について (2) 自殺対策計画策定に係る市民意識調査について (3) その他
結果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	村上孝浩(健康福祉部長)、豊島俊二(健康福祉部次長)、今野美香(健康福祉部参事兼健康政策課長)、清水裕子(健康政策課副課長)、志田真由美(健康政策課)、伴恭臣(健康政策課)、金澤嘉子(健康増進センター所長)、貫井なおみ(健康増進センター)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 議 題

（1）次期いろは健康 21 プランの策定に係る市民健康意識調査について

事務局および調査委託業者より、調査票の説明を行った。

◎一般市民調査票について

委 員：問 63 の選択肢番号と数字が並ぶとわかりにくい。

業 者：選択肢番号と数字が並ぶ部分のみ、ピリオドを打つなどの対応でわかりやすくする。

委 員：問 34 で、生野菜か温野菜かでお皿の解釈が異なるのではないか。

委員長：選択肢が 5 つにわかれているが、皿数が細かくて分析しにくいのではないか。ほとんど食べない、1～3 皿（やや食べる）、4～6 皿（比較的食べる）、7 皿以上（よく食べる）の 4 分類くらいで良いのではないか。野菜を積極的に食べるかどうかの設問があっても良いと思う。3 分類くらいでできると思う。

事務局：埼玉県と比較するために、選択肢を統一している。また、指標になっているので、このままで進めさせていただきたい。注意書きなどを記載してわかりやすくできるか検討する。

委 員：設問が羅列されているように見えるが、カテゴリを強調すると回答者がわかりやすいのではないか。

事務局：現在、カテゴリごとの区切りを入れているが、全体的にメリハリがつくようにフォントの調整を図る。

委員長：昨今、薬を削減や薬の教育が進んでいる。家に薬局でもらった薬があるか、何種類の薬があるか、家に薬がないと不安か、などの設問をいれてみてはどうか。

委 員：今飲んでいる薬が 5 種類以上かどうかを把握できれば良いが、回答者が把握しているのかが疑問である。回答した数値がどこまで信用できるかわからない。薬が沢山あることに対して不安の有無を聞く分には答えやすいと思うが。聞き方としては、毎日服薬している薬の数を聞く。処方されているものであり、サプリメントは含まない。その薬の数に対して多いか少ないかの感じ方も入れてもどうか。2 問程度入れると良い。

事務局：多いか、適量か、少ないかという選択肢になるのか。量の多さ、関心の有無、不安の有無などを聞いてみる。

委員：問56-2で、選択肢に「自分の健康を守るため」を入れてみてはどうか。

委員：薬はジェネリックもあるが、関連する内容を加えてみてはどうか。

委員長：ジェネリックに対して意識しているかどうかを聞いてみると良い。ジェネリックの聞き方としては、「ジェネリックに対する意識はいかがですか」で、「ジェネリックに切り替えている、機会があれば切り替えたい、切り替えたくない、関心がない、わからない」。注意書きが必要。

委員長：問28で、「ウ 料理を正しく並べる～」は必要なのか。

事務局：現行計画の行動目標の指標にあるため設けているので残しておきたい。

委員長：問38の必要性も検討してみてはどうか、

委員：農産物は過去形にしているが、進行形の表現にした方が良い。進行形だと出てきた数値を参考にしやすいと思う。「～機会があれば積極的に購入しますか。」と修正する。

委員：問39の「食べ残しを減らす努力」を、努力の解釈が異なると思う。どのような方向の努力か明確にしていきたい。

業者：食べる側だけではなく、作り手の立場も含まれている。また、国の調査もおおまかな聞き方をしているので、補足事項を追記する形で進めてみてはどうか。

委員長：国の方針なので、現状のままにする。

◎乳幼児調査票について

委員長：問31の選択肢で、7皿以上食べる乳幼児はいるのか。

事務局：関係課からこの選択肢で進めたいという要望があるためママとする。

委員：問24～25で、「あなたは、お子さんの・・・」と修正した方が良い。

委員：問16の上の網掛けが目立たない。

事務局：先ほどの意見同様、目立たせる。

委員：お子さんのことを聞いている問23～25を問36以降に移動させると良い。

事務局：移動させる。

委員：問38で、お昼寝のウエイトが多く、起床時間・就寝時間では回答者が難しいかと思う。お昼寝も入れて1日に何時間睡眠をとっているかを聞いた方が良いと思う。

委員長：サーカディアンリズムの観点からも起床時間と就寝時間を残し、睡眠時間を新たに追加してみてはどうか。

委員：市内には産婦人科がどこにあるのかわからない。産婦人科の場所を選ぶ際に困らなかったかどうかを聞く設問を入れてみてはどうか。

委員長：現実的に市や施策を展開できるかどうか判断基準であるため、保留にする。

委員：問23は母親のことを聞いているのではないか。今の場所で据え置いた形で進めていただきたい。

委員長：問23の位置をそのままにして、「ある・ない」の上に、「保護者」と「お子さん」という枠を設ければ良いのではないか。

委員：おくすり手帳や体重についても母親に関する設問ということで、聞くことにしていただきたい。

委員：問23～25はお母さんに関する設間だと伝わるように工夫すれば良い。

◎小学生調査票について

委員長：問27で伝統料理や作法を受け継いでいますか、とあるが、伝統料理は何か。30～40歳代が答えることが想定される。何を聞きたい項目なのか。

事務局：国の指標になっているので残す。

委員：問2は小学生のみに聞いているので、実年齢ではなく、学年を聞けば良いのではないか。

事務局：学年に修正する。

委員：小学生は兄弟もいると考えられ、一つの家庭に重複してしまうケースがある可能性がある。配付方法はどのようになるのか。

業者：配付方法は学校経由である。

委員長：アレルギーやぜんそくに関する内容を追加してみてはどうか。アレルギーやぜんそくの有無。国の指針としては、喫煙防止を強化しようとしている。ぜんそくの発生率は重要である。

委員：アレルギーの有無だけではなく、治療しているかどうか聞けると良い。

委員長：アレルギーだと症状が多すぎてしまうため、ぜんそくの有無のみにする。

委員長：問14～16については、誰に聞いているのか。

委員：問14の右側に枠をつけて小学生を加えればわかりやすいのではないか。

委員長：乳幼児や小学生の保護者を対象にする調査は、子どもをもつ大人の意識を調査しているはずである。問14～16は小学生と保護者のことを両方聞くように設定する。それから、母親の健診率を聞いてみてはどうか。

事務局：年齢で把握しているので、今回は特段追加しないようにする。

◎中高生調査票について

委員：問46の選択肢番号2・3は「～チェックしてもらっている」ではないか。

委員長：中高生で該当する人がいるのか。

委員：障害者の場合はあり得る。ちなみに、問46は（〇はいくつでも）に直していただきたい。

委員長：仕上げ磨きは「してもらっている」、歯磨きチェックは「している」で残す。

委員：仕上げ歯磨きの注釈を入れておいた方が良い。

委員長：してもらっていると記載すればわかるので、加えなくても良い。

委員：問31に「学校に行きたくないと感じた」を加えてみてはどうか。ここの状態がわかるのではないか。

委員長：「キ」で追加する。

委員：問36のみ中学生の方のみなので、問37の上に「全員にお聞きします」を加えた方が良い。

委員：問6の障がい者手帳は複数あるので、注釈を入れてみてはどうか。

事務局：福祉課には問題ないと指摘を受けているので、このまま残す。

(2) 自殺対策計画策定に係る市民意識調査について

事務局および調査委託業者より、調査票の説明を行った。

◎一般向け調査票について

委員：問29について、選択肢に自殺相談ダイヤル（番号入り）のことを加えてみてはどうか。末尾に番号を入れるのではなく、設問の途中に入れてみてはどうか。

事務局：検討するが、問25で市の事業を入れている。

委員：問27-1で、選択肢を自分自身、家族、友人、その他のことに、順番を変更した方が良いのではないか。

事務局：承知した。整理する。

委員：小学校の対象について2学年だと兄弟で重複するケースが考えられる。校数を増やして、一つの学校あたりの件数を減らすのはどうか。

事務局：検討する。

委員：P8の「～答えたくない～」という説明書きがあるが、選択肢の中に「答えたくない」を入れてみてはどうか。

委員長：この文章は、この先を読ませないような配慮なので変更なしで進めて良いと思う。

委員長：調査票の末尾は問い合わせ先というよりは、相談先にして、メールアドレスも追記すると良いと思う。

◎青少年向け調査票について

特に意見は出ませんでした。

(3) その他

今後、調査票発送までに会議がないので、事務局と委員長とで協議して決めることにする。

次回は2月22日（木）市役所 301・302 で開催予定である。

3 閉会

以上